

競 技 注 意 事 項

2026.9.22

1. 本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定により運営する。
2. 練習（ウォーミングアップ）について
競技開始5分前までは競技場内トラックおよびフィールド内を使ってもよい。競技開始後はバックストレートを使用してウォーミングアップをおこなってもよい。ただし、800m、4×100mR 競技中はトラックから外へ出ること。
3. 招集について
 - (1)競技者は出場種目の招集完了時刻までに招集場にて競技者係による点呼を受けること。その後競技者係の誘導で競技場所に移動する。競技場所で役員により最終点呼を受けること。
 - (2)トラック競技出場者は腰ナンバーカードを招集時に競技者係より受け取り、右腰やや後方に付けること。
 - (3)競技を棄権する選手はあらかじめ競技者係にその旨を申し出ること（代理人でもよい）
 - (4)招集は下記の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始時刻の30分前	競技開始時刻の20分前
フィールド種目	競技開始時刻の50分前	競技開始時刻の40分前

- (5)選手の招集は、100mスタート地点付近（A倉庫前）で行う。
- (6)リレーのオーダーについては、招集場に用意された用紙に競技開始30分前までに走順番の記入をすること。
また招集完了時刻(20分前)に4人そろって最終点呼を受け、競技者係の誘導でそれぞれの場所に移動する。
第4走者は腰ナンバーカードを競技者係から受け取り、右腰に付けること。
4. アスリートヴィブスは、各自登録番号のアスリートヴィブスをユニフォームの背と胸に2か所、安全ピンで4か所留めて、つけること。
跳躍競技については、アスリートヴィブスは1枚でもよい。
5. 100m、リレー競技、80mHのスタート方法は、クラウチングスタートとする。トラック競技のスタートにおいて、同じ競技者が2回不正スタートをした時、その競技者を失格とする。スターティングブロックの使用は決勝のみとする。
6. トラック競技の予選を行う100mについてはタイムレース予選とし、タイム上位8名によりA決勝、9位から16位によりB決勝を行う。800mは男女ともタイムレース決勝する。なお、800mは100mまでセパレートレーンで競技を行う。
リレーについてのルールは日本陸連のルールとおりとする。(メンバー変更はリレー登録メンバー以外にプログラムに記載のある選手から2名まで変更可とする。)
7. ジャベリックボール投げはやり投げピットを使用し、助走は15m以内とする。ボールの品番はNT5201を使用する。
8. 競技はすべて男女別で行う。
9. 走幅跳・ジャベリックボール投げは3回の試技ののち、トップ8による試技をさらに3回行う。
走高跳のバーの上げ方については選手の競技力を勘案して審判長が決定する。
走高跳については背面跳、ベリーロール、ロールオーバー等は禁止する。はさみ跳で競技すること。
10. スパイクを使用する場合は、ピンは全天候用ピンとする。
11. 選手の応援はスタンド（芝生スタンドも可）から行うこと。
12. トラック競技出場の手はゴール後スタンド裏通路を通ること。本部前の通行は禁止する。

※表彰

- ・8位までに入賞した選手は表彰を行う。結果発表後すみやかにスタンド下表彰者控室に来ること。
スタンド下への保護者の立ち入りは禁止する。ただし表彰式での写真撮影のみスタンド下においての撮影を認める。撮影は短時間で行い、撮影後は速やかにスタンドに戻る。守られない場合はスタンド下でのすべての撮影を禁止する。

※京都府選手権大会出場権

- ・100m、800mは16位までの選手に出場権を与える。ただし4年生は出場権がないので、16位以内に4年生がいる場合は17位以降を繰り上げて出場権を与える。
- ・出場権を得ながら京都府大会の出場を辞退する場合は競技結果発表後速やかに大会本部に申し出ること。
- ・その他の種目は8位までに入賞した選手、リレーについては8位までの入賞チームに京都府大会の出場権を与える。